

平成28年3月1日
内閣官房

「国際金融経済分析会合」の開催について

1. 趣旨

本年5月に開催される G7サミットの議長国として、現下の世界的な経済状況に適切に対応するため、世界の経済・金融情勢について、内外の有識者から順次見解を聴取し、意見交換を行う「国際金融経済分析会合」(以下「会合」という。)を開催する。

2. 構成

(1) 会合は、内閣総理大臣の下に、以下の閣僚等をメンバーとして開催する。

安倍 晋三 内閣総理大臣

麻生 太郎 副総理 兼 財務大臣 兼 内閣府特命担当大臣(金融)

菅 義偉 内閣官房長官

石原 伸晃 内閣府特命担当大臣(経済財政政策) 兼 経済再生担当大臣

加藤 勝信 一億総活躍担当大臣

岸田 文雄 外務大臣

林 幹雄 経済産業大臣

黒田 東彦 日本銀行総裁

(2) 内閣総理大臣は、構成メンバーの中から、会合の座長を依頼する。

(3) 会合においては、世界経済、金融市場等の有識者に出席を求め、意見を聴取する。

なお、率直な意見交換を確保するため、会合は非公開。会合後、事務局より記者ブリーフ。

3. 日程

3～5月にかけて5回程度

4. ヒアリング候補者

海外有識者も含め、世界経済・金融・エネルギーの専門家

5. その他

(1) 会合の下に、関係府省庁の幹部から構成される特別チームを設置。

(2) 会合の庶務は、内閣府、財務省及び経済産業省の協力を得て、内閣官房において処理する。